

第3回「都市づくりのグランドデザインの改定に向けた検討会」

議事要旨

1. 日時 令和7年9月3日(水) 13:00~15:00
2. 場所 東京都庁第二本庁舎31階 特別会議室24 (WEB併用)
3. ゲストスピーカー
 - 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 羽藤 英二 氏
「東京の新幹線・物流・地区交通の未来」
 - 一般財団法人計量計画研究所 理事 神戸大学 客員教授 牧村 和彦 氏
「幸せを量産するモビリティ戦略~TOKYO2050 グランドデザイン改定に向けて~」
4. 議事
※議事次第の通り
5. 主な意見
 - ・世界の首都のトレンドを踏まえたスマートモビリティの活用、ビジョン・ゼロ(死亡・重症事故ゼロを目標)への取組、ゾーン分けと公共交通システムを適切に組み合わせた東京独自の街区モデルの検討などが必要。
 - ・市街地では、自動運転やドローン配送と都市の調和や、高齢者を対象としたきめ細かい物流などが重要。ラストワンマイル配送は介護福祉分野の就労機会としてインクルージョンやウェルビーイングとの関連、グリーンスローモビリティはソーシャルヘルスとの関連に着目するなど、分野横断的な視野を持つべき。
 - ・国際競争力を高める視点での海外都市の状況把握・分析や、空港アクセスを高める富裕層向けサービス強化なども重要。一方で競争を意識し過ぎないように留意。
 - ・周辺県も含み全体を最適化する視点や、人、モノ、お金の国際的な動きへの着目が重要。
 - ・都市構造については、道路と鉄道のバランスを考慮しつつ、幹線道路のネットワークや、道路空間の再配分の検討を行うことが重要。また、現行グランドデザインの集約型の地域構造の図は、道路や緑の表現などをアップデートすべき。
 - ・様々なデータが高度に活用されるためには、データの整備と併せ、ルールのコード化と公開が重要。
 - ・グランドデザインの改定で示す新たな将来像の実現に向けては、東京らしいシンボリックなプロジェクトで、全体を引っ張っていく大胆さが求められている。